

社会

第2学年

育成を目指す資質・能力

【情報活用力】【課題発見・課題解決能力】

「身近な地域の調査をしよう」

【単元の概要】

本単元は総合的な学習の時間の「尾道学習」とタイアップした学習です。まずは、自分たちが暮らしている「尾道」について理解するために、項目ごとに尾道の基本的な情報を収集・整理します。それらの情報を全体で交流した後、グループごとに見いだした課題について、多面的・多角的に考察していきます。また、本単元で学習したことを総合的な学習の時間の「尾道学習」に生かし、魅力ある地域であり続けるため、尾道の抱える課題の解決について考え、考えたことを発信していきます。

◆単元の目標

- 身近な地域の調査と地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、意欲的に追究し捉えようとする。
- 身近な地域の地理的事象から課題を見だし、その過程や結果を適切に表現できる。
- 身近な地域の調査を行う際の視点や方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。

◆単元の計画（全6時間）

（総合的な学習の時間で実施）

- ・総合的な学習の時間において、尾道について探究する「尾道学習」を行う。総合的な学習の時間と関連付けて、社会科の学習において、「身近な地域の調査」で尾道のことを調査する学習を行うことを知る。

【情報の収集（2時間）】

- ・自分達の住む尾道の基礎的な情報を収集する。
- ・「自然環境・災害」、「産業」、「人口」、「地域の歴史」、「環境問題」、「地域独自の伝統」の六つの項目について、各班で分担を決め、情報を収集する。収集した情報を地図やグラフ等を用いて整理し、項目別の調査で分かった尾道の地域的特色を理解する。

【課題の設定（1時間）】

- ・各班が調べたことを交流し、尾道の基礎的な情報を共有する。
- ・調査した内容について、「疑問に思ったことは何だろう。」「もっと調べてみたいことはないだろうか。」と問いかけ、生徒から疑問を引き出した上で、項目の関連に着目しながら、各班が追究する学習課題を設定する。

【情報の収集、整理、分析（2時間）】

- ・各班が追究する課題について、必要な情報を収集する。収集した情報を多面的・多角的に考察する。
- ※考察の例：「なぜ、尾道の人口が減っているのか」について、尾道の年代別・地域別の人口推移、他県から及び他県への移住人数、観光で有名な地域の人口動態等の資料を基に多面的・多角的に考察する。

【まとめ・表現、振り返り（1時間）】

- ・課題について各班が考察したことをまとめ、全体で交流する。
- ・「このままでは尾道はどうなるのだろう」と問いかけ、魅力ある地域であり続けるため「自分達に何ができるだろうか」という意見を引き出し、尾道の抱える課題の解決に向けて考察する意欲を高める。

（総合的な学習の時間で実施）

- ・尾道の抱える課題の解決に向けて調査する。調査の際には、尾道市役所の職員の方、市内や県外（修学旅行で訪れる鹿児島県等）で町づくりに取り組んでいる方等への聞き取りなどを行う。
- ・調査したことを基に考察し、考察したことをプレゼンテーションソフトにまとめ、発表する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	2	「夢-しおりを作ろう-」
社会	1	「古代国家の歩みと東アジア世界～奈良時代の人々の暮らし～」
数学	1	「比例・反比例の関係」
	3	「相似な図形」
理科	3	「力のつりあい」
音楽	1	「日本の響き『さくらさくら』～弾いて！つくって！箏の魅力を見つけよう～」
	1	「徹底比較！2つのリート～「魔王」の音楽の構造をとらえ、リートの面白さを見つけよう～」
保健体育	1	「陸上競技 ハードル走」
技術・家庭	1	「製作品の設計」
外国語	2	「Unit5 Universal Design」
	2	「A New Language Service」
総合的な学習の時間	1	「生き方学習～職業調べ学習から探究してみよう～」
	2	「学び方学習Ⅱステップアッププレゼンテーション～職場体験学習を通して自分と向き合おう～」
	3	「個人探究～自分のアイデアで社会とつながろう～」